

道スポ協ニュース

vol. 176

Hokkaido Sport Association News

令和7年3月発行

第79回国民スポーツ大会冬季大会スケート競技会

天皇杯 男女総合成績1位!!

晴れて輝け! おかやま国スポ

伊香保国スポ

スケート競技会は令和7年1月26日(日)～30日(木)の期間で、ショートトラック、フィギュアスケートは岡山県岡山市と倉敷市、スピードスケートは群馬県渋川市にて開催されました。

今年は見事、男女総合成績(天皇杯)1位を獲得し、大会会長トロフィーを奪還することができました。女子総合成績(皇后杯)も3位に入賞し、男女ともに多くの選手が入賞されました。この勢いそのままに、来年は天皇杯連覇、そして皇后杯1位を目指して頑張りましょう!



第79回国民スポーツ大会冬季大会アイスホッケー競技会

少年男子 負け知らずの22連覇

晴れて輝け! おかやま国スポ

アイスホッケー競技会は令和7年2月1日(土)～5日(水)の期間で岡山県岡山市と倉敷市にて開催されました。

健闘の末、少年男子は昨年に続き優勝、そして22連覇を達成しました。成年男子は惜しくも連覇を逃してしまいましたが、最後まで攻めの姿勢を貫き、熱い戦いをみせてくれました。来年は天皇杯1位を取り戻すべく、挑戦者として屈することなく挑んでまいります。引き続き皆様の応援をよろしくお願いします!



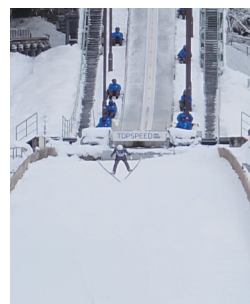
第79回国民スポーツ大会冬季大会スキー競技会

天皇杯6連覇達成

あきた鹿角国スポ2025

スキー競技会は令和7年2月13日(木)～16日(日)の期間で秋田県鹿角市にて開催されました。

今年も多くの北海道選手が活躍し、男女総合成績(天皇杯)、女子総合成績(皇后杯)ともに1位、そして天皇杯6連覇を達成することができました。日頃の練習の成果が実を結び、今年も大変素晴らしい成績で幕を閉じました。来年は天皇杯だけでなく皇后杯の連覇にも期待がかかります。引き続き北海道選手団の活躍にご注目ください!



©2015 秋田県人だッチ

北海道選手団入賞者一覧

スケート 令和7年1月26日～30日：岡山県岡山市・倉敷市／群馬県渋川市					
競技名	種別	種目	順位	氏名	所属
スピードスケート	成年男子	500m	3位	大島 颯己	オカモトグループ(白樺学園高等学校)
			7位	村上 右磨	高堂建設(株)
		1000m	3位	久保 向希	オカモトグループ
			6位	山本 悠乃	日本大学(白樺学園高等学校)
		1500m	3位	久保 向希	オカモトグループ
			5位	菊池 健太	専修大学(白樺学園高等学校)
	成年女子	500m	7位	立花英太郎	専修大学(白樺学園高等学校)
			4位	北海道選抜	
		1000m	1位	阿良 美希	高崎健康福祉大学(北海道帯広農業高等学校)
			1位	久保 杏奈	(株)JT B
		1500m	5位	河原 莉緒	早稲田大学(北海道帯広三条高等学校)
			6位	河原 莉緒	早稲田大学(北海道帯広三条高等学校)
	少年男子	3000m	7位	森野 ころこ	日本体育大学(駒澤大学附属苫小牧高等学校)
			5位	鈴木 柊香	早稲田大学(北海道帯広三条高等学校)
		2000mR	1位	北海道選抜	
			1位	軍司 冬馬	白樺学園高等学校
		1000m	2位	軍司 冬馬	白樺学園高等学校
			4位	宮坂 大地	白樺学園高等学校
フィギュアスケート	少年男子	1500m	1位	宮坂 大地	白樺学園高等学校
			2位	日下 賢将	北海道帯広三条高等学校
		5000m	2位	小坂 陽汰	北海道池田高等学校
			6位	細川晃太郎	北海道帯広柏葉高等学校
		10000m	2位	坂野 誠道	白樺学園高等学校
			4位	小坂 陽汰	北海道池田高等学校
	少年女子	500m	1位	笹渕 和花	北海道帯広南商業高等学校
			3位	今井 千陽	北海道帯広農業高等学校
		1000m	4位	山田 怜歩	北海道帯広三条高等学校
			3位	山田 怜歩	北海道帯広三条高等学校
		1500m	5位	西川 想乃	北海道帯広三条高等学校
			3位	小島 楓	北海道帯広三条高等学校
アイスホッケー	成年男子	3000m	4位	重堂 羽南	北海道帯広南商業高等学校
			1位	北海道選抜	
		2000mR	8位	西本 那音	北海道芽室高等学校
			8位	武田 結仁	苫小牧市立苫小牧東中学校
		少年男子	8位	岩本 愛子	駒澤大学附属苫小牧高等学校
			8位	加藤 杏望	札幌第一高等学校

アイスホッケー 令和7年2月1日～5日：岡山県岡山市・倉敷市					
競技名	種別	種目	順位	氏名	所属
アイスホッケー	少年男子		1位	北海道選抜	

スキー

令和7年2月13日～16日：秋田県鹿角市

競技名	種 別	種 目	順位	氏 名	所 属
ジャンプ スラローム	成年男子A		7位	今村 心温	日本体育大学 (旭川明成高等学校)
	成年男子B		1位	新 賢範	Brain
	成年男子C		3位	小林 大郁	(株)北海道銀行
	少年男子		1位	五十嵐 暖	小樽双葉高等学校
			3位	ブイチック 龍馬	東海大学付属札幌高等学校
			7位	小林 桂	東海大学付属札幌高等学校
			8位	片山 大斗	小樽双葉高等学校
	成年女子A		3位	嘉屋 美咲	日本体育大学 (東海大学付属札幌高等学校)
		7位	山田 悠可	日本体育大学 (東海大学付属札幌高等学校)	
	少年女子		1位	川田 千聖	北海道滝川西高等学校
	6位	田野 双葉	小樽双葉高等学校		
クロス カンントリー	成年男子B		3位	佐藤 友樹	JR北海道スキー部
		7位	蜂須賀優駿	JR北海道スキー部	
		8位	児玉 宗史	JR北海道スキー部	
	成年男子	リレー	2位	北海道選抜	
	少年男子		1位	藤原 天聖	北海道恵庭南高等学校
			3位	吉田 頼生	北海道美幌高等学校
			4位	和久 幹希	北海道富良野高等学校
			6位	船場 凱安	北海道倶知安高等学校
	リレー	1位	北海道選抜		
	成年女子A		2位	栃谷 天寧	日本大学 (北海道おといねっぶ美術工芸高等学校)
	3位	栃谷 和	自衛隊体育学校		
成年女子B		6位	蜂須賀明香	自衛隊体育学校	
少年女子		6位	金津 美雪	北海道富良野高等学校	
女子	リレー	4位	北海道選抜		
スペシャル ジャンプ	成年男子A		2位	竹花 大松	(株)土屋ホーム
		6位	工藤 漱太	雪印メグミルクスキー部	
		8位	池田 龍生	雪印メグミルクスキー部	
	成年男子B		4位	渡部 陸太	東京美装グループスキー部
	少年男子		1位	三上 託摩	北海道余市紅志高等学校
			2位	岡部凜太郎	北海道下川商業高等学校
			3位	姫野 蒼大	札幌市立前田中学校
			5位	高橋 劉成	北海道下川商業高等学校
	6位	長谷川琉已	名寄市立名寄中学校		
コンバインド	成年男子A		8位	千葉 大輝	日本大学 (札幌日本大学高等学校)
	成年男子B		2位	湊 祐介	エイム
	少年男子		6位	姫野 蒼大	札幌市立前田中学校

冬季大会終了時点で本道は男女総合成績（天皇杯）1位、女子総合成績（皇后杯）2位となっております。各競技団体をはじめとする関係者の皆さま、そして応援して下さる皆さまへ厚くお礼を申し上げますとともに、引き続き北海道選手団への応援とご協力をよろしくお願いいたします。

第79回 国民スポーツ大会 わたSHIGA輝く国スポ2025

湖国の感動 未来へつなぐ



わたSHIGA輝く国スポ・障スポ

第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会 2025



日時：令和7年9月6日（土）～15日（月）会期前①
令和7年9月21日（日）～25日（木）会期前②
令和7年9月28日（日）～10月8日（水）本会期

会場：滋賀県大津市 他

北海道日本ハムファイターズ 選手会シート

昨シーズンよりご招待いただいている、北海道日本ハムファイターズ選手会様の強い思いから始まった「北海道日本ハムファイターズ選手会シート」に今年度も引き続き北海道スポーツ少年団の団員へ抽選で対象38試合に各12名の計456名の団員が選手との交流や試合観戦にご招待いただきました。

野球に限らず、様々なスポーツに取り組む子ども達が、プロスポーツを生で観戦し、より多くの刺激を受け、今後の夢や目標を持ち、生涯にわたってスポーツを楽しむ子ども達が増えることを期待します。



▲北広島市ソフトテニス
スポーツ少年団の皆さん



◀松本剛選手と記念撮影

全道各競技別交流大会

第22回北海道スポーツ少年団 バレーボール交流大会

令和6年9月14日（土）～9月15日（日）の2日間、深川市総合体育館・深川市立深川中学校・深川市立深川小学校の3会場にて、第22回北海道スポーツ少年団バレーボール交流大会が開催され、男女各16チームが参加し、全国大会をかけた熱い戦いが繰り広げられました。

今年度の優勝は、男子：深川J Bスポーツ少年団（深川市） 女子：江別中央ジュニアスポーツ少年団（江別市）となりました。幾多の勝負を勝ち抜いたこの2チームは、第22回全国スポーツ少年団バレーボール交流大会（令和6年12月27日～12月30日：愛媛県開催）へ出場し、両チーム共に熱い戦いを繰り広げ素晴らしい結果で大会を終えました。



▲江別中央ジュニア



▲深川JB

第39回北海道スポーツ少年団 剣道交流大会

令和6年12月1日（日）、砂川市総合体育館にて第39回北海道スポーツ少年団剣道交流大会が開催され、道内各地から団体戦・個人戦



▲札幌市選抜A

わせて計183名が熱戦を繰り広げました。

団体戦では札幌市剣道スポーツ少年団A（札幌）が優勝し、惜しくも三石翔武館剣道スポーツ少年団（日高）が準優勝という結果となりました。個人戦は、男子が唐崎太陽さん（上川：鷹栖剣道スポーツ少年団）、女子が能地天音さん（上川：すずらん剣道スポーツ少年団）が優勝という結果となりました。

全国大会への切符を手にした団員の皆さんはこれから第47回全国スポーツ少年団剣道交流大会（令和7年3月28日～30日：大分県開催）へ出場となります。記憶にも記録にも残る、素敵な戦いを期待しています！



▲女子個人戦



▲男子個人戦

北海道カヌー協会

北海道カヌー協会は、レクリエーションやスポーツとしてのカヌーを北海道に普及させることを目的とした組織です。昭和50年に設立され、令和6年度現在の会員数は13団体128人です。

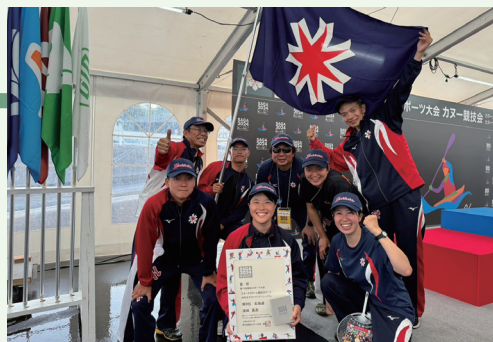
カヌーのレクリエーションは川をのんびり下ったり、海鳥と海岸線を併走したり、キャンプをしながら湖をゆったり探索したりと、非日常を楽しむものです。スポーツとしてのカヌーには、静水で直線を漕ぐ

タイムを競うスプリント競技や激流の川に設定された旗門を順番に通る技術とタイムを競うスラロームなどがあります。

スプリントもスラロームも国民スポーツ大会の種目になっています。協会では北海道代表を大会に送るために、選手の強化事業も手がけています。新旧のオリンピック選手を招いた講習会・練習会を定期的にも開いています。北海道代表を経験した選手の中には、日本代表となる人も出てきました。協会は今後も愛好者や選手のサポートを続け、カヌーをさらに北海道に普及させたいと考えています。



▲スプリントチームは3名で5種目の入賞がありました



▲スラローム・ワイルドウォーターチームは4名で6種目の入賞がありました

北海道合気道連盟

合気道は、植芝盛平開祖が日本の伝統武術を究め、さらに厳しい修養を経て創始した現代武道です。現在合気道は140の国と地域で愛好され、国内では約2,400ヶ所の登録道場があります。

合気道に試合は無く、子供から年輩者まで性別の区別も無く、型稽古を通じて心技体を鍛えるのを目標としています。いたずらに強弱を争わず、相手の動きや体格等を理解し調和を図る稽古スタイルが、平和が求められるこの難しい時代に受け入れられている面があると考えられます。

北海道合気道連盟は、現在25団体が加盟、約700名の会員が所属しており、2027年には創立60周年を迎えます。当連盟では、全道規模での練成会を年2回実施して研鑽を図り、2年に1回演武大会も実施し、日頃の成果を披露する機会を作っています。また、少年少女の育成にも力を入れており、毎年小中学生の強化練習会を実施し、今年は高校生の練習会も企画しております。今後も道場の垣根を超えた交流を行ってまいります。



▲第2回北海道小中学生合気道強化練習会



▲北海道合気道連盟練成会の風景




北海道

スポーツ応援米

ゆめぴりか6割+えみまる4割

「北海道スポーツ応援米」の売り上げの一部を寄付し、
スポーツイベント等の開催を通じて
北海道の未来を担う子どもたちの健やかな成長を応援します。





精米5kg・10kg



無洗米5kg

パッケージ
リニューアル

④ 本商品の売り上げの一部(1kgあたり1円)を公益財団法人北海道スポーツ協会に寄付します。

この広告の商品のお買い求めは、全道のホクレンパルライズ商品の取り扱い店舗で。

この広告や掲載商品に関するお問い合わせ先：011-221-2483 受付時間：月～金曜日9時～17時

※この広告はホクレンパルライズ商品の紹介広告であり、取り扱い販売先ことによる販売価格などは記載していません。※販売先によって取り扱いがない場合、品切れの場合がありますのでご了承ください。

札幌市スポーツ少年団

札幌市スポーツ少年団は昭和41年に創設され、まもなく創立60周年を迎えます。

令和6年度は全17種目、登録単位団数169団体で、年々登録数は減少傾向にあるものの、本部役員・登録団体の多大なる協力のもと活動を続けております。

主な活動といたしましては、札幌市登録単位団を対象とした各種交流大会開催のほかリーダー活動にも積極的に取り組んでおり、札幌市単独のリーダー講習会開催や全道・全国事業への団員派遣を行っています。

令和5年度からは他地域のリーダーとの交流を目的とした『ジュニア・リーダー研修会』を開催し、長く楽しくリーダー活動を続けてもらえる環境整備に努めております。

また、指導者や母集団に向けた講習会も毎年開催し、スポハラなどをテーマとすることで、意識の統一を図っています。

今後もクラブ化など様々な改革が予想されますが、スポーツを楽しむ子どもたちの笑顔を守るため、指導者・母集団・役員が一丸となり活動を支援していきたいと思ひます。



▲札幌市スポーツ少年団ジュニア・リーダー研修会



▲綱引交流大会

ガッツだぜ！スポーツ少年団

遠別イーグルスバレーボールスポーツ少年団

遠別イーグルスバレーボールスポーツ少年団は、1988年に結成され、今年で37年目になります。

現在の団員数は35名で、週に5～6回、遠別小学校を中心に元気に練習に励んでおります。

今年度の北海道スポーツ少年団バレーボール交流大会には、男女とも留萌管内代表として出場し、男子の部で3位入賞という素晴らしい成績を収めました。

また、小連などの主催大会においても、混合チームで全国大会出場を果たしております。

これからも、団員、指導者、保護者と力を合わせ、バレーボールを通じて、身体を動かす楽しさや感謝の気持ちを忘れることのない様、育成活動に努めていきます。

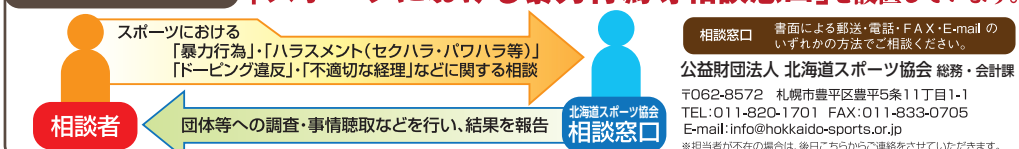


▲選抜優勝大会 男子準優勝



▲元気に練習に励んでいます

北海道スポーツ協会は「スポーツにおける暴力行為等相談窓口」を設置しています。



指定指導者研修会（令和6年11月30日）

本研修会は、北海道内のスポーツ指導者のより一層の資質・指導力の向上を図ることなどを目的として、11月30日（土）に北海道立総合体育センターにて開催し、北海道スポーツ協会指定強化指導者や日本スポーツ協会（JSPO）公認スポーツ指導者及びスポーツ愛好家など全道から59名が参加しました。

講演Ⅰでは、（公財）日本ラグビーフットボール協会公認レフリーでパリ2024マッチオフィシャルを務めた桑井亜乃氏に「プレイヤー引退後のキャリアデザインー世界初を達成するためのゴール設定とプランニングー」と題し、ラグビーフットボール日本代表から日本人で初めてオリンピックでマッチオフィシャルを務めるまでの活動とともに、明確に目標を設定し、その目標に向かってチャレンジすることの意義についてご講演をいただきました。

講演Ⅱでは、（公財）日本スポーツ協会インテグリティ推進部インテグリティ推進課課長の佐野俊輔氏による「日本スポーツ協会が目指すNO！スポハラ活動」として、昨今のスポーツ現場にけるハラスメントの現状とその対策についてご講演をいただきました。

また、講演Ⅲでは、公認アスレティックトレーナー北海道協議会の大川淳輝氏に「ストレッチ&トレーニングの基礎知識と最新知見」と題して、ストレッチの重要性などについてご講演いただきました。

参加者からは、今後の指導の参考にしたいなど数多くのお声をいただき非常に充実した研修会になりました。



講演Ⅰ 講師：桑井亜乃氏

第12回北海きたえーるカップ フットサル大会

開催月日 2025年1月18日（日）

開催場所 北海道立総合体育センター
メインアリーナ

当協会では、2012年より開始した「子どもの体力・運動能力向上事業」の1つとして、フットサル大会を開催しており、大会運営を一般社団法人エスポラダ北海道スポーツクラブ様へ委託しております。

今年で12回目を迎えた本大会は、総勢16チーム・161名の子どもたちが参加し、白熱したゲームが繰り広げられました。

また本大会は、ホクレン農業協同組合連合会様よりご協賛いただき、参加賞として北海道スポーツ応援メシをお配りしました。

● キッズの部

優勝 札幌中央フットボールクラブ

● U-8の部

優勝 しらかば台

サッカースポーツ少年団



きたえーるトップアスリート チャレンジ 2025

開催月日 2025年1月13日（月・祝）

開催場所 北海道立総合体育センター
メインアリーナ

本事業は、世界・全国レベルの選手や指導者のもと、1日で様々なスポーツを体験させることを目的に開催しており、今回は永山竜樹様、北海道日本ハムファイターズベースボールアカデミーの須永英輝様・浅沼寿紀様、北海道コンサドーレ札幌バドミントンチームの吉田仁様・大越泉様・山澤直貴様・大出竜輝様のご協力をいただき、「柔道・野球・バドミントン」の3競技を実施しました。

講師の皆様の優しく丁寧な指導で、どの競技も大変盛り上がり、北海きたえーるに子どもたちの笑顔がたくさん溢れた1日となりました。

本事業の開催にあたりまして、ご協賛をいただきましたホクレン農業協同組合連合会様、北洋銀行様に感謝申し上げます。引き続き、子どもたちの笑顔と体力向上のために今後も様々な事業を展開してまいります。



北海道スポーツ医・科学コンソーシアム

令和5年度に北海道、札幌市、札幌医科大学、そして本会が連携してスポーツ庁から「地域におけるスポーツ医・科学サポートの体制構築事業」を受託し、「北海道スポーツ医・科学コンソーシアム」を設置しました。2年目となる今年度は、膝のけが予防を目的とした測定や、女性特有の問題を題材とした講習会等による女性アスリートへのサポートを行いました。また、一般の方にもその活動を知っていただくため、10月20日に北翔大学円山キャンパスで「北海道スポーツ医・科学フェスタ」を開催し、女性アスリートの支援や地域スポーツの振興、スポーツ医科学専門家のキャリアアップなどに関するシンポジウムのほか、測定やメンタル相談の体験会など多くのイベントが行われました。

当日は、スポーツ医科学の専門家が及び学生のほか、一般の方など約300名の方々にご参加いただき、盛会のうちにイベントを終えることができました。



フェスタ：1日分の栄養摂取チェック体験



フェスタ：骨格筋量・体脂肪等測定



北海道スポーツ協会では、スポーツ振興くじ助成事業（クラブアドバイザー配置事業）を受け、クラブアドバイザーを1名配置し、道内の総合型地域スポーツクラブに対し指導助言、啓発活動等を行っています。



表彰・記念品専門店 少ロットでもまずはご相談ください

株式会社 **オリジナルHOTTA**

〒060-0031 札幌市中央区北1条東9丁目11-46
TEL(011)211-4147 FAX(011)211-4148
<http://www.o-hotta.com>



HP



mizuno.jp 0120-320-799



建物の「ライフサイクルコストの最適化」という観点から、
資産価値と収益性の向上を実現します。

まずは検索を 検索

快適をもっと、最適をずっと。
日本管財株式会社
<https://www.nkanzai.co.jp>

<お問い合わせ先>

北海道支店 〒060-0004 札幌市中央区北四条西5丁目1番地 TEL: 011-205-5641

●本社所在地: 〒103-0027 東京都中央区日本橋2-1-10 柳屋ビルディング

●本店所在地: 〒662-8588 兵庫県西宮市六湛寺町9-16

○建物管理運営事業(ビル管理業務、保安警備) ○住宅管理運営事業 ○環境施設管理事業
○不動産ファンドマネジメント事業 ○その他の事業

オフィシャルパートナー・賛助会員

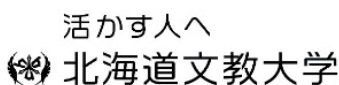
(順不同・敬称略) 令和7年2月28日現在

【オフィシャルパートナー】



【賛助会員】

スペシャルサポーター



法人・団体サポーター

ヒロノスポーツ
(一財)北海道バスケットボール協会
日本管財(株)
和光技研株式会社

北海道青少年会館コンパス
千歳ステーションホテル
(株)HARP
(一財)北海道ラグビーフットボール協会

(一財)稚内市スポーツ協会
(医)とくひろ整形外科クリニック
十勝管内スポーツ協会連絡協議会
(ほか1社)

個人サポーター

森野 和泰 小林 友洋 山口 淳一 八木 知徳 八木 真理 伊端 隆康 (ほか2名)

賛助会員募集中!!

北海道スポーツの未来を支えるため、皆様のご支援・ご協力をお願いいたします。

【年会費】

- ・スペシャルサポーター 1口 100,000円
- ・法人・団体サポーター 1口 10,000円
- ・個人サポーター 1口 5,000円

☆各種会員特典をご用意しております。



◀ 申込方法等の詳細は
本会ホームページをご覧ください。

スポーツの力で北海道に笑顔を 北海道スポーツの新しい未来

発行

公益財団法人 北海道スポーツ協会

〒062-8572 札幌市豊平区豊平5条11丁目1番1号
北海道立総合体育センター内

TEL (011)820-1701(代表)

FAX (011)833-0705

MAIL info@hokkaido-sports.or.jp

道スポ協及び関連ホームページアドレス

- 公益財団法人 北海道スポーツ協会
..... <https://www.hokkaido-sports.or.jp/>
- 北海道立総合体育センター 北海きたえーる
..... <https://www.kitayell.jp/>
- 公益財団法人 日本スポーツ協会
..... <https://www.japan-sports.or.jp/>

北海道スポーツ協会
ホームページ



は国民体育大会やスポーツ少年団など、事業の詳細はHPをご覧ください！